

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 6 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

正答

1

(1)

1 ウ

3まいのかがみの光が重なっているところがいちばん明るく、あたたかくなります。



(2)

2 イ

明るい部分が小さくなればなるほど、あたたかく(あつく)なります。



(3)

3 ア

2

(1)

4 エ

ワラジムシとクモは、あの数が6本より多いので、こん虫ではありません。



(2)

5 ウ

(3)

6 ウ、エ

トンボやバッタは、よう虫からさなぎにならないでせい虫になります。



★先生方へ～解答欄の 1 ～ 6 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

正答

1

(1)

1 イ

(2)

2 ウ

(3)

3 エ

時間がたつと月はどうように動くのか調べるためにには、時刻を記録する必要があります。また、どのように動いたのか調べるためにには、時間がたっても動かない目印を記録する必要があります。



月は、太陽のように東から南を通って西に、たえず動いています。



2

(1)

4 ア

(2)

5 ウ

とじこめた空気をおすと体積が小さくなり、おすのを止めると体積はもとにもどります。水はおしちぢめることができません。



(3)

6 イ

空気と水のせいしつを利用したものには、きりふきのほかに、シャンプーのポンプなどがあります。



★先生方へ～解答欄の 1 ～ 6 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

正答

1

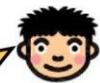
(1)

1 エ

(2)

2 ア

3 受粉が必要かどうかを調べるために、受粉以外の
条件を同じにして実験をすることが大切です。



2

(1)

4 ウ

ひろしさんの予想はまちがっていますが、予想が確かめられた場合に得られる実験結果の見通しをもつことが大切です。



(2)

5 ア

あやこさんは、水のはたらきの大きさは、水の量が関係していると考えているため、その考え方を確かめるためには、水の量以外の条件を同じにして実験をすることが大切です。



(3)

6 イ

石は、流れる水によって運ばれるとき、ぶつかり合って角がけずられ、小さく丸くなっています。



★先生方へ～解答欄の 1 ～ 6 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

(1) 1 イ(2) 2 エ

根から取り入れられた
水は、おもに葉から水蒸
気となって出ていきます。


(3) 3 ウ

水が水蒸気となって出ていく
小さな穴をあこうといいます。



2

(1) 4 イ

水のはたらきで土が流されると、色やつぶの大きさが
ちがう、れき、砂、どろなどが層そうになって積み重なり、
それが何度もくり返されて、地層そうができます。


(2) 5 ア(3) 6 ウ

地層そうには、流れる水のはたらきでできたものと火
山のはたらきでできたものとがあり、どちらも、層そう
になって広がっています。

